

工学部 海洋土木工学科

学科カリキュラム・ポリシー

ディプロマポリシーを達成するため、次のような科目を配置します。

- 1) 人類の幸福と福祉について考えることのできる能力を養成するための科目を配置します。
- 2) エネルギーと環境、人間と社会の持続的な調和を考えることのできる能力を養成するための科目を配置します。
- 3) 地域社会及び国際社会においてコミュニケーションができる能力を養成するための科目を配置します。
- 4) 数学や自然科学の基礎と工学基礎に関する知識を活用できる能力を養成するための科目を配置します。
- 5) 土木工学の基礎知識を工学的デザインに活かし、持続的な社会の発展に貢献できる能力を養成するための科目を配置します。
- 6) 海洋環境の開発と保全について総合的判断ができる能力を養成するための科目を配置します。
- 7) チームによる調査・討論・発表などを通じて、地域社会の課題を自主的に発見し、それを分析・解決できる能力を養成するための科目を配置します。
- 8) 卒業後も主体的に学習を継続できる能力を養成するための科目を配置します。

対応する学部 CP

- ④
- ①⑤
- ③
- ①
- ①②
- ①②
- ②
- ④

学科ディプロマ・ポリシー

海洋土木工学科プログラムの学習・教育目標に基づくカリキュラムを履修し卒業に必要な所定の単位を修めるとともに、下記の8つの学習・教育目標に示す能力を身につけた学生に対して、卒業を認定し学位を授与します。

- 1) 人類の幸福と福祉について考えることのできる能力
- 2) エネルギーと環境、人間と社会の持続的な調和を考えることのできる能力
- 3) 地域社会及び国際社会においてコミュニケーションができる能力
- 4) 数学や自然科学の基礎と工学基礎に関する知識を活用できる能力
- 5) 土木工学の基礎知識を工学的デザインに活かし、持続的な社会の発展に貢献できる能力
- 6) 海洋環境の開発と保全について総合的判断ができる能力
- 7) チームによる調査・討論・発表などを通じて、地域社会の課題を自主的に発見し、それを分析・解決できる能力
- 8) 卒業後も主体的に学習を継続できる能力

対応する学部 DP

- ②
- ①
- ②
- ①
- ①
- ①
- ③
- ③

カリキュラム・マップ

| アドミッション・ポリシー | カリキュラム ポリシー | 授 業 科 目 名 | | | | | | | | ディプロマ ポリシー |
|--------------|----------------|---|--|--|--|--|--|--|---------|---------------|
| | | 1 年 | | 2 年 | | 3 年 | | 4 年 | | |
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| | 1) | 初年次セミナーⅠ(◎) 統合Ⅰ(◎) 大学と地域(○) | 初年次セミナーⅡ(◎) 統合Ⅱ(◎) 自然科学分野(○) 体育・健康(理論)(○) | 人文・社会科学分野(◎) 異文化理解入門(◎) | | | 土木技術者倫理(◎) 科学技術論(○) 環境工学論(○) | | | 1) |
| | 2) | 初年次セミナーⅠ(◎) 統合Ⅰ(◎) 大学と地域(◎) | 初年次セミナーⅡ(◎) 統合Ⅱ(◎) 自然科学分野(◎) | 人文・社会科学分野(◎) 異文化理解入門(○) | 化学基礎(○) 地球科学基礎(○) | 原子力・放射線と環境(○) 環境汚染制御(○) | 土木技術者倫理(◎) 科学技術論(○) 原子力・放射線と環境(○) 環境工学論(○) | 卒業論文(◎) | 卒業論文(◎) | 2) |
| | 3) | 英語ⅠA(◎) 英語ⅠB(◎) | 英語ⅡA(◎) 英語ⅡB(◎) | 英語Ⅲ(◎) | 英語Ⅳ(◎) | 海洋土木学外実習(○) | 海洋土木専門英語Ⅰ(◎) 海洋土木学外実習(○) | 卒業論文(◎) 海洋土木専門英語Ⅱ(◎) | 卒業論文(◎) | 3) |
| | 4) | 情報活用(◎) 微分積分学AⅠ(◎) 線形代数Ⅰ(◎) 物理学基礎AⅠ(◎) 基礎物理学実験(◎) | 材料力学基礎(◎) 微分積分学AⅡ(◎) 線形代数Ⅱ(◎) 物理学基礎AⅡ(◎) | 基礎統計学入門(◎) 工業数学および演習Ⅰ(◎) 構造力学(○) 水理学Ⅰ(○) 建設材料学(○) プログラミング演習(◎) 情報システム(◎) | 工業数学および演習Ⅱ(◎) 土質力学Ⅰ(◎) 水理学Ⅱ(○) 化学基礎(◎) 地球科学基礎(◎) | 構造解析学(○) 土質力学Ⅱ(◎) コンクリート構造設計学(○) 海洋土木工学総合演習Ⅰ(◎) 数値解析(◎) 生産工学論(◎) エレクトロニクス論(◎) 原子力・放射線と環境(○) | 海洋土木工学総合演習Ⅱ(◎) 海岸防災工学(○) 材料科学論(◎) 耐震工学(○) 原子力・放射線と環境(○) | | | 4) |
| | 5) | フレッシュマンセミナー(◎) | 材料力学基礎(○) | 構造力学(◎) 水理学Ⅰ(◎) 建設材料学(◎) 構造力学演習(◎) 情報システム(○) | 測量学(◎) 測量実習(◎) 土質力学Ⅰ(◎) 水理学Ⅱ(◎) 海洋コンクリート工学(◎) 水理学演習(◎) 土質力学演習(◎) 海洋建設工学実験Ⅰ(◎) 土木環境計画学(◎) | 構造解析学(◎) 土質力学Ⅱ(◎) 海岸環境工学(◎) コンクリート構造設計学(◎) 海洋土木工学総合演習Ⅰ(◎) 海岸測量実習(◎) 海洋建設工学実験Ⅲ(◎) 海洋土木学外実習(◎) 構造解析学演習(◎) 数値解析(○) 生産工学論(○) エレクトロニクス論(○) 環境汚染制御(○) 流域保全工学(◎) コンクリート構造設計学演習(◎) | 海洋土木専門英語Ⅰ(○) 海岸防災工学(○) 海洋土木工学総合演習Ⅱ(◎) 海洋土木デザイン工学Ⅰ(◎) 建設マネジメント(◎) 海岸測量実習(◎) 海洋建設工学実験Ⅱ(◎) 海洋土木学外実習(◎) 耐震工学(◎) 科学技術論(○) 合成構造システム工学(◎) 材料科学論(○) | 卒業論文(◎) 海洋土木デザイン工学Ⅱ(◎) 海工学実験(◎) 海洋建設システム工学(◎) 海洋土木専門英語Ⅱ(○) | 卒業論文(◎) | 5) |
| | 6) | | 海洋学総論(◎) | 水理学Ⅰ(○) 海岸防災工学(○) | 海洋コンクリート工学(○) 土木環境計画学(○) | 海洋物理環境学(◎) 海岸環境工学(◎) 海岸測量実習(○) 流域保全工学(○) | 海洋土木デザイン工学Ⅰ(○) 沿岸環境学(◎) 海岸防災工学(○) 海洋物理環境学演習(◎) 海岸測量実習(○) | 卒業論文(◎) 海洋土木デザイン工学Ⅱ(○) 海工学実験(○) | 卒業論文(◎) | 6) |
| | 7) | 基礎物理学実験(○) | | 構造力学演習(○) プログラミング演習(○) | 測量実習(○) 水理学演習(○) 土質力学演習(○) 海洋建設工学実験Ⅰ(○) | コンクリート構造設計学演習(○) 海洋建設工学実験Ⅲ(○) 海洋土木学外実習(○) 構造解析学演習(○) | 海洋土木デザイン工学Ⅰ(○) 海洋物理環境学演習(○) 海洋建設工学実験Ⅱ(○) 海洋土木学外実習(○) | 卒業論文(◎) 海洋土木デザイン工学Ⅱ(○) 海工学実験(○) | 卒業論文(◎) | 7) |
| | 8) | | 体育・健康(実習)(◎) 体育・健康(理論)(◎) | | 測量実習(○) 海洋建設工学実験Ⅰ(○) | 海洋建設工学実験Ⅲ(○) 海岸測量実習(○) | 海洋建設工学実験Ⅲ(○) 海岸測量実習(○) | 卒業論文(◎) | 卒業論文(◎) | 8) |

注) 各科目間の関係や専門教育科目の流れは表1、表2、図1ならびに標準履修課程表を参照

◎:密接に対応、○:対応